



4位立

試合前後の 触れ合い

一緒に試合に臨むご来場者と選手たちが、試合前にはともに活気づけ合い、試合後には互いに労い感謝し合う。これが間近で行える、今の競技場の正面玄関前の空間を愛する方はすごく多いようです。

川崎フロンターレの選手たちも「バスで競技場に入るとき、皆が声援を送ってくれて、試合前なのに泣きそうになった」と話しています。

4位

試合前後の 触れ合い



☆桜並木でバスをお出迎え

「競技場前の桜並木が大好きです。選手バスの出迎え、見送りができるこの桜並木で見られる光景に、一体感を感じます」(麻生区/30代女性)

「競技場に入るバスを迎える場所もそのままに…。選手を待つ皆で声援するとき涙が出そうな位の感動があります」(宮前区/40代女性)

「選手バスの入り待ちや花道も大好きなので残してほしいです」(中原区/10代女性)



4位

試合前後の 触れ合い



☆トレカをもらってお見送り

「選手バス駐車場も、今までどおりファンサービスができるに十分な広さがあればうれしいです」(東京都／30代女性)

「ファンサービススペースだけは絶対なくさないで欲しいです。最後の一体感ポイントはあの試合後のあの選手とサポーターのふれあいだと思っています」(宮前区／40代男性)

「子供ファミリーが多いので試合終了後のサインができるスペースは今と同様に残してください。ここでも試合の余韻を選手と一緒に味わえる場所です。選手とサポーターが共有して気持ちを感じあえる場所と時間を提供できるスタジアム作りを要望します」(宮前区／40代男性)



4位

試合前後の 触れ合い

☆その他 寄せられたご意見

●お互いの顔が見えるエリア

「入り待ちでの選手への声援。今は、バスが入ってくるまでしかできませんが、バスから降りて競技場に入るまでの間でも選手を励まし応援できる様になれば、よりいっそう選手とサポーターと一緒に戦っているという一体感が生まれるのではないのでしょうか」(高津区/40代男性)

